

今月も心ホカホカ花いっぱい

分校まつりに神送り、白石が目白押し！
二本木峠の山ツツジも負けてはいません！！

二本木峠では、5月5日（日）の山開きに合わせ、「山ツツジ歓笑祭」が開催されました。当日は多くの方々が訪れ、ステージの催し物や山ツツジに包まれた風景を堪能されている様子でした。



スイートハートの皆さんによるフラダンスの演舞は、衣装の花と山ツツジがマッチしていて会場をより彩り華やかにしてくれました。また、パロディ倶楽部の皆さんのコミカルな演奏が笑いの花も

咲かせてくれました。太鼓演奏、バンド演奏、その他いろいろな演目が風景とともに訪れた皆さんの心に残ったようです。

真っ赤に咲いた山ツツジは、見つめると目を閉じてもおまぶたの裏に映り込むような印象的な花です。二本木峠では毎年山開きのタイミングに合わせてるように咲いてくれます。

今年を逃した方は、ぜひ来年お越しください！



5月12日（日）、白石地区の伝統「神送り」が行われました。神送りは、厄病払・かぜの神送りとして江戸時代中期に伝承され、1年間の無病息災を願う、県の無形民俗文化財に指定されている行事です。

心地よい初夏を思わせる陽気の中、大人たちが中心となって様々な厄病を書いた旗を持ち、字境まで行列を作りました。子どもも数人参加し、小さい子にはちょっと重たい旗を一生懸命持ち、みごと最後まで歩くことができました。

今年は、昨年と比べ、行列を作る

子どもの数がかなり減少してしまいました。神送りは、後世に伝えるべき重要な民俗風習の一つです。他自治体より少子高齢化が深刻化している本村では、村の伝統を残していくことが、今後の課題となっています。



4月13日（土）に、旧白石分校において、旧分校を合宿所としている「鬼太鼓座」の皆さんが「分校まつり」を開催しました。当日は晴天に恵まれ、春風のなか山々に轟く太鼓の音が景色を作っていました。



鬼太鼓座の皆さんは、オリジナルのカフェを開いて、スコーンやコーヒー、ケバブやポップコーンなどを振

舞ってくれました。また、校庭にて布団たたきを使った太鼓演奏や、大きなけん玉を使ったパフォーマンスなどを披露していただき、子どもから大人まで大いに楽しめたようです。

